

「美濃加茂市公共施設等総合管理計画（案）」に関する 意見募集結果

1 目的

美濃加茂市公共施設等総合管理計画は、国の策定要請に基づき、市の健全財政を維持しながら、将来人口に応じた適切な公共施設の運営をめざし、長期的な視点から公共施設やインフラ施設の公共施設マネジメントの方針を示す総合的な計画です。

そこで、本計画の策定にあたって、広く市民の方から意見を求めるためにパブリックコメントを実施しました。

2 実施期間

平成29年1月4日（水）～2月3日（金）

3 周知方法

- (1) 広報みのかも（1月1日号）に『「美濃加茂市公共施設等総合管理計画（案）」についてご意見を募集します』と題して、パブリックコメントの実施について掲載
- (2) 美濃加茂市ホームページに、『「美濃加茂市公共施設等総合管理計画（案）」に関するパブリックコメント（意見募集）の実施について』と題して、パブリックコメントの実施について掲載
- (3) 美濃加茂市経営企画部施設経営課にて「美濃加茂市公共施設等総合管理計画（案）」の閲覧を実施

4 意見の提出方法

- *意見提出者数 1人
- *意見提出件数 1件

5 提出された意見と市の考え方

該当箇所	公共施設の総数・総量削減の3大方針
意見内容	将来厳しい状況であることは充分理解していますが、いきなり方針で新規整備は行わない、施設の総数を圧縮する、施設の総量を増やさないでは、全く市の将来展望に失望してしまうのは私一人でしょうか。市の人口1人当たりの施設量は全国平均と比べて少なすぎる現状から少し和らいだ表現が出来ないかと思います。少子高齢化の中で、デイサービス施設の不足、外国人のための多文化共生センター、これからの観光対策としての観光交流施設、安心安全なまちづくりのための防災センター等時代にあった施設が今後必要な時が来るかも知れません。また全国には、それぞれのまちを象徴する資源があり、それを生かしたまちづくりが行われています。美濃加茂を

	<p>象徴する魅力的な施設を整備し全国に発信することも重要です。例えば、全国に名高い明治の文豪坪内逍遙の記念館も市にあるべきだと思います。このことから、①「更新以外の新規整備は行わない」ではなく、例えば『原則として新規の施設整備は、既存施設の更新時のみに留め、新規整備に当たっては、必要性等十分に検証し、適正な規模となるよう努めます』と表現を変更してはどうか。②「建替時は統合・複合化を検討し、施設の総数を圧縮する」を『建替時は統合・複合・移管・廃止等を検討し、施設の総数の抑制を図ります』と表現を変更してはどうか。③「施設の総量（延床面積）は現況以上に増やさない」を『施設の総量（延床面積）は現況以上に増やさないよう抑制を図ります』と表現を変更してはどうでしょうか。</p>
<p>ご意見に対する市の考え方</p>	<p>市では、美濃加茂市人口ビジョンにおいて、およそ20年後の平成47年から52年にかけて、最大人口約58,000人を想定しています。今後は人口の大幅な増加を見込むことは困難であり、厳しい財政状況も予想されるなか、市民サービスを維持しながら、変化する公共施設への市民ニーズにも対応していかなくてはなりません。また、社会保障費の支出増加が見込まれる中で、公共施設の更新及び維持管理に投資できる予算には限りがあります。</p> <p>よって、今後必要となる公共サービスを維持していくために必要な財源を確保するためにも、まず公共施設の更新及び維持管理等に要する費用の削減が求められ、本来ならば施設の量を大幅に減らすことを考えるべきではありますが、市民一人あたりの公共施設延床総面積における全国平均値との比較からも当市は多大に過剰な施設を保有している状況ではありません。そこで、現在の施設の総数及び総量を最大値としてとらえ、今後施設の量の増加に対して一定の歯止めをかける計画といたしました。</p> <p>ただし、ご意見のとおり、公共施設に求められる市民ニーズは、人口の年齢構成の変化などにより、今後ますます多様化し、変化していくことが考えられます。よって、単一目的の施設から複数目的の施設整備を基本とし、選択と集中をもって変化するニーズと将来見込まれる需要に対応していくことにより、あるべき公共施設の維持および公共サービスの提供を行っていきたいと考えております。そこで、「更新以外の新規整備は行わない」を『原則として更新以外の新規整備（建設）は行わない』に改めます。</p> <p>また、本計画は計画期間を20年間としており、10年後には計画の評価及び見直しを行うことによって、将来の社会状況の変化に対応していきます。</p>